

# いりよの ひろば

Vol.  
**218**  
2016.1.25

■1面 イベントのご紹介

■2面 こども職業体験

■3面 地域医療連携「近藤診療所」  
糖尿病教室

■4面 がん診療に対する  
取り組み ほか



ズラリと並んだチビッコ外科医！一体何？と思われることでしょう。実は昨年11月7日に高槻病院消化器外科と小児外科が開催した「第1回高槻KIDSセミナー」の一コマです。地域から募集した小学校高学年20名の皆さんに、人工皮膚の縫合結紮や腹腔鏡ドライラボ等、実際に若手医師や医学生が使う練習用機器・用具で手術体験してもら

## 高槻病院の さまざま なイベントを ご紹介します



いました。日頃、患者さんの立場でしか接することのない医師の仕事、外科医指導のもとで練習体験すること、とても興味を覚えるものだったようです。

高槻病院は急性期病院として患者さんの治療・ケアにあたる一方、地域に開かれた施設として数多くの催しを行っています。その目的は病気に関連したさまざまな問題の解決を図ることや医療や看護を理解していただくこと、また患者さんに癒しのひと時を過ごしていただくため、あるいは地域コミュニティを育む場のご提供…と多様です。

最近の催しをご紹介しますとまず昨年12月1日、緩和ケアチーム主催で行われた「オレンジバルーンコンサート」。緩和ケアとは病気による痛みなどの苦痛を緩和する医療とケア

オレンジバルーンコンサート▶▶



を指します。その内容を広く正しく伝えてゆく社会運動としてオレンジバルーンプロジェクトが有名です。高槻病院もこの主旨に賛同し入院、通院中の患者さんに安らぎのひとときを過ごしていただくよう定期的に「オレンジバルーンコンサート」を開催しています。今回も多くの患者さん参加のもと、懐かしい童謡やナツメロに耳を傾けていただき、ラストは「希望を持つとうの願いを込めて「翼をください」で締めくくられました。

2面に続く



社会医療法人  
愛仁会

高槻病院

高槻市古曽部町1丁目3番13号 ☎ 072-681-3801 <http://www.takatsuki.aijinkai.or.jp/>

他にも世界的な病気の啓発キャンペーンが行われている11月14日の「世界糖尿病デー」には、糖尿病内分泌内科 富永部長、糖尿病認定看護師他多くのスタッフが糖尿病の予防や治療継続の重要性について展示コーナーや相談コーナーを設け、患者さまやご来院の方々にアピールし、ご相談にも対応しました。

そして12月といえはクリスマス。同月15日には、恒例となった院内ボランティアの皆様による「クリスマスコンサート」が行われました。外來フロアに軽やかなクリスマスソングが拡がり、参加いただいた方々には合唱も楽しんでいただきました。

また同じ病気の方々が気持ちを分かち合い情報を交換する機会として、がん患者さまサロン「たんぽぽ」や在宅酸素友の会の活動を支援させていただいています。定期的な茶話会やレクリエーションでは多くの患者さんが交流を楽しんでいます。

高槻病院では診察室や検査室、病室だけでなく、このようにさまざまな場所で患者さんやご家族にとって意義ある活動を続け、より広いスタンスに立って皆様の健康を支えていけるよう、今後とも努めていきたいと考えています。(広報担当 大原)



イベントのお知らせは院内掲示や病院ホームページで随時ご案内させていただいております。ぜひご参加ください。



## 高槻のお店で 職業体験 「こどもとしごと」 に高槻病院が参加します。

小学校3年生から6年生の子どもたちが、体験したい店舗や事業所を最大2店舗選び、その場所に行って「しごと」を体験する企画です。この事業は2015年から始まり今年で2回目の開催となりますが、高槻病院は初めての参加となります。

日程は2016年2月7日(日)、参加店舗・事業所は32で、1つの仕事場あたり1時間の体験ができます。高槻病院では、看護師体験を企画しています。1つ目は、赤ちゃん人形のおむつ交換と産着の更衣です。2つ目は、自分たちの血圧を血圧計と聴診器を使用して測定します。3つ目は、リトルアンを使用して胸骨圧迫を体験してもらいます。1時間の看護師体験を3回行い、合計54名の子どもたちの受け入れを行います。

子ども達に看護の「しごと」を体験してもらい。他者を思いやる心と命の大切さを感じてもらえる経験にしてもらいたいと考えています。(看護部 新館八階病棟 看護科長 川上一美)

高槻のお店で職業体験  
TAKATSUKI  
こどもとしごと  
KODOMO & SHIGOTO  
Vol.2  
2016年2月7日(日)  
10:00~16:00  
雨天決行

1/17  
10:00~14:00  
場所:芥川商店街商協会館  
参加費:1人2体験/1,500円  
参加対象:小学3年生~6年生(保護者同伴可能)  
参加定員:250人まで



近藤診療所 近藤 基之 院長

地域に密着する  
身近な存在になるような  
診療所を目指して

## 一 開院の経緯

近藤診療所は私が4歳の時に父が自宅隣に開業しました。休日・夜間でも患者さんの自宅へ駆けつけるような医師であった父の姿を見て、小学生の頃から父のような医師になりたいと考えるようになりました。滋賀医科大学進学後、いわゆるホームドクターを医師像とし、それを目指して研修に臨みました。当院周辺は高齢化が非常に進行しており、動脈硬化性疾患の基礎疾患である生活習慣病の管理

## 一 診療所の特徴

を中心と勉強することが大切と考え、糖尿病・腎臓・神経内科に入学しました。公立甲賀病院等で内科だけでなく、皮膚科・整形外科等かかりつけ医として必要な知識を研修し、大学院を卒業したのを機に父の意志を継ぎ診療所を継承しております。

診療の際心がけているのは、患者さん自身の診療だけではなく、そのご家族にも安心していただける様な医療を提供することです。

周辺地域は高齢のご夫婦のお二人暮らしや独居の方が多く、ご家族が離れて暮らされているケースが増加しており、健康面での不安は切実な問題です。さらに坂が多い地域なので、病院への通院(特に複数の専門科に通院すること)や、医療の面以外の生活全般に不安・不便を抱きながら暮らす方が多くおられます。そこで診療の際には出来るだけ患者さんとそのご家族のお話を伺う時間を設けるようにし、病気のことでだけではなく日々の生活の様子を伺い、さらにはどのようなライフスタイルを希望されているのかを聞き出



## 一 高槻病院への要望

高槻病院に患者さんをご紹介した際に急な診療にも応じていただき、大変頼りやすいです。要望として挙げるなら、診療中に予約を取る際、地域直通電話が繋がりにくくスムーズに予約が取れないので、回線を増やしていただけたらと思います。

患者さんが医療機関にかかろうと思った時に、「まず、近藤先生のところへ行つて相談しよう」と思ってもらえるような、身近な存在となるような診療所を目指しております。

近藤先生、お忙しい中快くインタビューをお受けいただきありがとうございます。お話を伺う中で、患者さんやご家族さんに真摯と向き合い、病院だけではなく、患者さんの生活環境、安楽について考え、少しでもよりよい生

活を実現させてあげたいという想いを感じました。診療所の診察だけではなく往診も行う、かかりつけ医の存在は患者さんにとって、大変強い支えになっていると思います。先生からのご要望は真摯に受け止め、さらに医療連携に努めてまいります。地域医療部 中西・山下・佐伯

## 近藤診療所

〒569-1042 高槻市南平台2-14-2  
TEL.072-694-4060

【診療内容】内科・外科・皮膚科・リハビリ科・  
麻酔科・整形外科

【診療時間】午前9時～12時、午後5時～7時30分

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○	×

休診日：土曜日午後、日曜日/祝日



## ■ INFORMATION ■ 糖尿病公開講座

● 1月29日(金)15時～16時『薬物療法について』

担当：薬剤師  
場所：愛仁会リハビリテーション病院8F 第2会議室

● 2月12日(金)15時～16時『糖尿病の時に受ける検査②』

担当：検査技師  
場所：愛仁会リハビリテーション病院8F 第2会議室

● 2月26日(金)15時～16時『自宅でできる簡単な運動をやってみよう!』

担当：理学療法士  
場所：愛仁会リハビリテーション病院8F 第2会議室

がん診療に対する取り組み② .....



# がん治療における リハビリテーション科の役割について

リハビリテーション科 作業療法部門 主任 西田 明日香

リハビリテーション科では、がん患者さんに対してリハビリテーションを実施する機会が増え、昨年度は249名のがん治療や緩和目的で入院された患者さんにリハビリテーションを実施しました。「がんのリハビリテーション」について、リハビリテーション科の取り組みを紹介させていただきます。

入院中は、がん自体の病状進行のみならず、化学療法や外科的治療が加わることにより患者さんは心身ともに衰弱します。「リハビリテーション」といえば積極的に体を動かし、元気な状態に戻ることをイメージしがちですが、動けない患者さんや介護するご家族が自宅で生活しやすい状態に環境を設定する、生活の提案をするなどの役割も担っています。自宅に帰って生活することに大きな不安を感じている方は多数おられます。末期のがん患者さんにおいては「1日だけでも家に帰ってほっとしたい」という思いで自宅退院する方が多くおられます。そういった状況を支援すべく、当院リハビリテーション科においてはがん患者さんに対して『退院前訪問指導』を2012年度から開始し、在宅復帰への支援を行っています。



▲がんリハ研究チームによるがんリハビリテーションマニュアル作成の様子

また、がん診療管理委員会、各診療科カンファレンス、緩和ケアカンファレンスなどにリハビリスタッフが積極的に参

加し、院内の多職種連携を図っています。今年になり、がん患者リハビリテーション料を算定することが可能な研修を受けた理学療法士、作業療法士や言語聴覚士が6名に増え、科内でもがんリハ研究チームを発足させ、科内における「がんリハビリテーションマニュアル」の作成にむけても取り組んでいます。

## 退院前訪問指導の内容

ご自宅へ退院される患者さんのお宅へ理学療法士や作業療法士が同行し、患者さんとご家族の希望を踏まえ、患者さんの出来ること・したいこと、ご家族の介助状況に合わせた「安心・安全」な生活環境の提案をしています。

例えば、自宅に入る手段、ベッドの位置や高さ、移動方法を実際に患者さんとご家族と一緒に体験することで退院後のイメージや安心につながります。さらに、酸素や吸入器など医療機器のレイアウトや自宅内での動線、実際の管理方法などを一緒に検討することができます。また、退院後も地域サービスを利用する方が多くおられますがサービス提供事業所のスタッフの方とも退院前訪問指導の際に集まってお話し、顔の見える申し送りを行うことで在宅療養を切れ目のない安心できる医療・ケア提供の場につなげています。



▲退院前訪問指導に向けてのシミュレーションの様子

社会医療法人  
愛仁会

## 高槻病院

### ■高槻病院の理念「患者さまの満足する医療」

#### ■患者さまの権利

1. 患者さま個人の人格や価値観が尊重され、医療者との信頼関係の下で、良質で安全、公正な医療を適切に受ける権利があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、その効果や危険性、または他の方法の有無について、理解できるようにわかりやすい説明を受ける権利があります。
3. 理解できるわかりやすい説明を受けたのち、検査の諾否や治療法の選択などについて自分で決定する権利があります。

#### ■患者さまの責務

1. 患者さま自らの健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療者に伝える責務があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、理解できるまで質問をする責務があります。
3. すべての患者さまが良質で安全な医療を適切に受けることができるように、他の患者さまの診療や病院の医療提供に支障をきたさないように配慮する責務があります。

愛仁会リハビリテーション病院 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号 ☎072-683-1212  
 しんあい病院 〒569-1123 高槻市芥川町2丁目3番5号 ☎072-681-5533  
 しんあいクリニック 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目46番3号 ☎072-668-5000  
 愛仁会高槻在宅サービスセンター 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号

訪問看護ステーション愛仁会高槻 ..... ☎072-686-1876  
 ケアプランセンター愛仁会高槻 ..... ☎072-686-1882  
 ケアプランセンターケーアイ ..... ☎072-687-2536  
 ケアプランセンター愛仁会富田 ..... ☎072-692-2941  
 しんあいケアプランセンター ..... ☎072-680-3000  
 ヘルパーステーション愛仁会高槻 ..... ☎072-686-1875  
 ヘルパーステーション愛仁会富田 ..... ☎072-692-2941  
 介護老人保健施設ケーアイ 〒569-1051 高槻市大字原112番地 ☎072-687-0103  
 介護老人保健施設しんあい 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目46番1号 ☎072-680-3000  
 愛仁会総合健康センター 〒569-1143 高槻市幸町4番3号 ☎072-692-9291  
 愛仁会看護助産専門学校 〒569-1115 高槻市古曽部町1丁目3番33号 ☎072-681-6031